

安全作業手順書【テールゲートリフター（パワーゲート）】



見積り基準をした危険性の評価			
重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)	○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	△ たまに起こる (1年に1回程度)	× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)
	○ ○ (極めて小さい)	△ △ (かなり小さい)	× × (中程度)
	△ ○ (かなり小さい)	△ △ (中程度)	△ × (かなり大きい)
	× ○ (中程度)	× △ (かなり大きい)	× × (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積り	危険性の評価	危険度	判定
× ×	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	視時点では必要なし (様子を見る)
○ ○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC~春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC~飛鳥北IC,有松IC~上社JCT)
機器工具 ・車両	パワーゲート	保護具	ヘルメット、安全チョッキ ゴム手袋、軍手、安全靴

作業区分		作業手順・作業内容		急所		危険ポイント (~なので~になる)			リスクの見積り (A) (B) リスク			安全対策(危険度2以下へ) (私達はどうする)			リスクの再見積り (A) (B) リスク		
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / / / /	△ × 4 ○ × 3 / / / /	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する / / / /	○ ○ 1 ○ △ 2 / / / /										
	作業前点検	使用前の車両点検及びブーム装置等の点検を行う	以下の点に重点をおいて (車両) ブレーキ、クラッチ、電動機、フレーム等の腐食 (作業装置) ブーム、シリンダー部、平衡装置、油圧装置、 操作装置、安全装置、アウトリガー	点検不足により、作業中にクレーンが故障する / / / /	○ × 3	作業前に必ず点検を行う / / / /	○ ○ 1										
本作業	出発	基地等、敷地内から車道へと進入する 目的地へ回送する	周囲の安全を補助員と共にしっかり確認して 車両回送手順書に従い	確認不足により一般車両及び人と接触する / / / /	△ × 4	余裕を持って慎重に車道へ流出する 車両回送手順書に従う	○ △ 2										
	準備工	周囲の状況を確認する 車両の設置場所の地盤、路面状況を確認する 設置場所の上空、周囲に支障物が無いか確認する 積載重量を確認する	目視で昇降台が使える場所を確保して 周囲の状況に気をつけながら 周囲の状況に気をつけながら 車両の規格を確認して	路面が傾いていて積み荷が転倒・転落する 構造物などに気づかず、昇降台が接触してしまう 積載重量以上の荷物を載せて転倒・転落する / / / /	○ × 3 △ △ 3 ○ × 3	路面状況を確認し、平坦な場所で作業する。 周囲を確認してから昇降台を開く 作業前に必ず車両の規格を確認する / / / /	○ ○ 1 ○ ○ 1 ○ ○ 1										
	積み荷の 積み下ろし	荷台・作業板に乗り込む 昇降板に荷の積み下ろしをする。	周囲の状況に気をつけながら 昇降板の先端部と地面の段差に注意して 昇降板は揺れやすいので注意して	昇降板・荷台から転落・飛び降り怪我をする。 積み荷が、転倒・転落する。 移動中(昇降中)に指や足を挟んでしまう。 移動している(昇降中)に積み荷が転倒し下敷きになる / / / /	○ × 3 ○ × 3 △ △ 3 △ △ 3 △ × 4	作業車は原則として昇降板に乗ったまま移動しない(昇降) 昇降板に荷を移動するときは、地面を背にして運ばない。 移動するときは、昇降板と地面の間地点に止めて降りる ストッパーをして滑り落ちないようにする。 昇降板から、荷がはみ出さないようにする。 移動中(昇降中)は昇降板に触らない、近づかない。操作者は有資格者が行う。 昇降板の少し離れた場所に立ち周囲から目を離さない。 / / / /	○ ○ 1 ○ ○ 1 ○ ○ 1 ○ ○ 1 ○ ○ 1										
	後片付け	昇降板をかたずける。	周囲の状況に気をつけながら	回送中に昇降板が開いてしまう。 / / / /	△ △ 3	昇降板を閉めたら必ずロックをし確認する。 / / / /	○ ○ 1										
	仕上げ	発生材や道具を片付ける 清掃道具で場内清掃を行う 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して 車線側への飛散に十分気を付けて 使用道具や、検測道具など忘れ物のないように	掃き掃除やブロワー使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する / / / /	△ △ 3	職長は必ず場内全体を監視し、 警笛等を用いて合図をしながら清掃する / / / /	○ ○ 1										
	現場離脱																

25.車両回送手順書に則る